

元田永季 （幼学） 儒者。文政元年十月一日肥後國生肌、明治二十四年一月二十一日歿（二八一—九二）。字子中、幼名大吉、通稱傳之丞、八右衛門。號東塾、東臈、東野、樵翁、猿岳、茶陽、藤原永季等。藩費時習館の學心、横井山楠の師事。明治二年藩知事細川護久の待讀、翌年宮内省出仕、のち明治天皇の侍講。宮中顧問官、樞密顧問官兼任。男爵。「教學大旨」、「幼學綱要」を執筆編纂。

著書『経途准講録』（吉本襄編、明治二十二年二月十六日鐵華書院）、

『幼學綱要讀本』（皇訓成美會編纂部、昭和八年七月十五日皇訓成美

會）、『口述全譯 幼學綱要』（蘆谷重帝譯、昭和十年五月七日厚生閣書

店）、『幼學綱要』（昭和十年六月二十五日日本精神文化振興會）、

『幼學綱要』（宮内省藏版、昭和十二年五月一日岩波書店「岩波文

庫」）、『倫理洞進講録』（中山敬二校、昭和十四年二月二十日文京

書房。附録「明治天皇と元田永季」）、『現代語譯幼學綱要』（教材

社編輯部譯、昭和十五年十月五日教材社）、『倫理洞進講録』（昭和

十六年十一月十八日聖訓普及會）、『ポケット幼學綱要』（宮内省藏

版、昭和十七年十一月十五日山陽社）、『元田永季文書』（元田竹彦、

編、第一卷「自傳」昭和十四年九月二十七日、第二卷「著述評議」

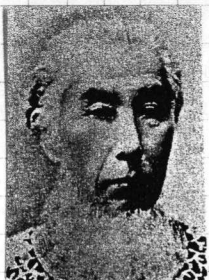
四十五年八月二十日元田文書研究会）等。

文獻、深沢安之著『幼學綱要講話』（昭和十七年五月十八日厚生教育普

及會）、高森良人著『元田永季先生の遺訓』（昭和

十九年四月四日弘道館）、岡村利平著『解幼學綱要

・婦女鑑』（昭和十四年八月二十日春陽堂書店）、



竹澤義夫編『幼學綱要』（昭和十七年十一月五日研究社「研究社學生

文庫」)、海後宗吉著「元田永季」(昭和十七年八月二十日文教書院  
 「日本教育生哲叢書」)、白田浩曉著「幼學綱要奉體」研究」(大倉  
 精神文化研究所編、昭和十九年二月一日神奈川・躬行會「大倉精神文  
 化研究所紀要」)、麓保孝著「明治天皇  
 侍講」元田東野先生と老年逢春吟」  
 (昭和四十八年七月十五日斯文会)等。